

## 採択理由

小学校 種目名 国語 発行者名 光村図書出版株式会社

| 採 択 理 由  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の活用に関して、学習して得た情報を、さらに活用・発展させて考える教材が選択されている。</li> <li>・学年の学習内容に応じて、情報の取扱いに関わる内容が増えるなど、学年の発達段階に配慮している。「デジタル機器と私たち」など、6年生で重点的に取り扱うようにしている。</li> <li>・古典などの伝統的な言語文化を数多く取りあげ、児童の興味が高まるような構成になっている。また、文学的・説明的文章においても、伝統的な言語文化と関連付けて学習できるよう工夫している。</li> <li>・説明的文章の学習では、まず、短い文章で読み方を練習し、次に長文を読むといった具合に、自身の読み取りを深める単元構成となっている。</li> <li>・文学的文章では、「多様性」や「平和」、「生き方」など、伝統的に用いられてきた文学作品と、現代に生きる児童に必要な内容を取りあげている文章がバランスよく配置されている。これまでの教育実践・教育教材を幅広く活用することができる。</li> <li>・「話すこと・聞くこと」の学習の中で、言語活動につながる教材を意図的に配置している。</li> <li>・「書くこと」の学習では、構成例や例文が多数用意され、取り扱う内容が良く、児童が考えやまとめを書く手助けとなる。</li> <li>・言語活動につながる単元構成であり、活動例が豊富に準備されており、児童が自ら学習に取り組めるよう工夫されている。また、話し合い活動が上手く進められないときの原因や対応について、児童が自分で考えられるよう工夫するなど、言語活動の充実が図られている。</li> <li>・「本は友達」などにおいて、テーマを決めて、読書活動が広がるよう工夫している。随所に、単元と関連づけたものが紹介され、内容も豊富である。</li> <li>・学校や地域の図書館の使い方など、各学年で重点的に取り扱い、積極的な利用を促している。</li> <li>・「国語の学びを見わたそう」「見通しをもとう」は、児童が学習のめあてを持ち、見通しをもって学習できるような内容となっている。</li> <li>・見通しをもって主体的に学習を進めることができるよう、各単元のまとめ方が工夫されている。</li> <li>・「知る」「読む」「つなぐ」など、各単元のふり返りの視点を3項目設けるなど、個々の学習状況に応じて選択できるようになっており、学習の広がり期待できる。</li> <li>・教科書の情報量が多く、子どもが教科書で学べる構成となっている。また、教科書以外の文章にふれる機会が少ない子どもにとっても、学ぶべき内容が準備されている。</li> <li>・点字表や指文字表を採用したり、国語辞典の使い方では、QRコードの活用の仕方を工夫したりするなど、児童の意欲・関心を高める工夫がされている。</li> </ul> |

小学校 種目名 書写 発行者名 光村図書出版株式会社

| 採 択 理 由   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年の教材に「たいせつ」の欄を設け、手本以外の字を書く時にも活用できる基礎・基本が示されている。また、学習のめあてを意識したふり返りができるようなふり返し欄を設けている。</li> <li>・動物キャラクターの動きや、「すうっ」「びたっ」などの擬態語や擬声語を活用して、運筆を直感的に理解できるように工夫されている。</li> <li>・第3学年における毛筆の導入に当たって、点画の種類や字形、筆順に関する例示の掲載数が多い。親しみやすい穂先のキャラクターを用いて、手本となる例だけではなく、改善を要する例も掲載し、穂先の向きやバランスについて比較しながら学べるような構成になっている。</li> <li>・姿勢や筆記具の持ち方など書き方についての注意例が157あり、多く示されている。</li> <li>・「学習の進め方」が示されていることで一時間の流れが明確になり、学んだことを生かして最後に鉛筆で書いてまとめができるようになっている。</li> <li>・「考えよう」では、課題に対して自分が考えたことを話し合ったり、教科書に書き込んだりする活動が仕組みられ、児童が意欲的に課題解決に向かえようになっている。</li> <li>・巻末には、その学年で学んだ「たいせつ」が一覧になっていて、学習のふり返りがしやすい。</li> <li>・まとめの学習では、2年では、書くときに気を付けたことを話し合わせたり、5年では、6年生を送る会の取り組み方を紹介したりするなど、今まで学んだことの中から、必要な情報を適切に選択して活用する力を育てる活動を設定している。</li> <li>・「書写広げたい」では、横書きの書き方、原稿用紙の使い方、手紙・はがきの書き方、新聞の書き方の</li> </ul> |

- 工夫などの作品例を紹介し、国語科や他教科、日常生活に学びが広がるように設定されている。
- ・全学年にSDGsを意識した教材が設けられ、「未来をつくるアイデア」の掲載により、社会の一員であることの自覚が高まるように工夫している。
  - ・全学年の教科書紙面に、学習場面に合わせてデジタルコンテンツが使えるよう、二次元コードが載せてある。全学年合わせて、363点と多数の動画や写真、アニメーションが用意されている。そのデジタルコンテンツが動画なのか写真なのか、読み取る前に分かるように工夫されている。
  - ・毛筆の筆使いを解説した動画は、真上からと斜めから撮影された映像があり、ポイントやふり返りの視点まで確かめられるようになっている。
  - ・色覚異常のある児童にも配慮した配色で、紙面が作られている。
  - ・3年生以上の教科書には、「学習の進め方」が示され、見通しをもって学習を進めることができる。
  - ・「たいせつ」で学習のポイントが端的に示され、確認しやすい。

小学校 種目名 社会 発行者名 日本文教出版株式会社

- | 採 択 理 由  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的に見開き1ページで一時間分が構成され、課題解決を進めるために必要な写真や絵図が豊富に掲載されている。</li> <li>・5年の「日本の位置とはんい」では、「キーワード」のコーナーで、陸地だけではなく海を含めた領土や領海について、図を用いてわかりやすく説明している。</li> <li>・「キーワード」で本文や資料に登場する社会科用語を解説し、理解を深める工夫をしている。</li> <li>・歴史学習では、年代や時代のつながりをつかみ、調べ学習などが進められるよう、単元や学習内容に応じて年表が掲載されている。日清・日露の戦いの学習では、見開きで開戦前の国際情勢の風刺画と戦場の地図を比較しやすいように配置し、学習を進めやすい工夫がされている。</li> <li>・児童の思考を促し、資料の比較や関連性など調査に対する関心を高めることができるよう、「見方・考え方」を設け、空間・時間・関係の三種類に分けて様々な視点を示している。</li> <li>・「学び方・調べ方コーナー」は「見る・調べる」「読み取る」「表現する」に分け、順に追って活動を具体的に例示している。</li> <li>・単元の中で、「問題を発見する力」、「問題を追及・解決する力」を明示し、見通しを持って学習を進める工夫がされている。</li> <li>・学習内容やまとめ方の例をキャラクターの会話で示すことにより、児童がまとめるポイントを理解するとともに表現力や思考力を高めることができるよう工夫されている。</li> <li>・「考えよう！SDGsコーナー」を設け、学年の発達段階に合わせて、日本や世界で見られる様々な課題への意識が高められるよう工夫されている。</li> <li>・「未来につなげる～わたしたちのSDGs～」の特集ページでは、児童が社会的事象を自分事として考え、行動できるきっかけとなる資料を掲載している。</li> <li>・各単元において、現場で働く人々の声を取り上げ、自分たちの住んでいる社会生活の問題として関連付けながら主体的に学ぶことができるように工夫されている。</li> <li>・学習内容と考えのきっかけをつかむ文が明確に分けられ、読みやすい本文の構成になっている。</li> <li>・二次元コードを読み取ると、動画や画像等の資料があり、学びを深める工夫がされている。また、ワークシートは単元ごとに「学習をはじめよう」「学習の計画」「学習のまとめ」が用意され、問題解決的な学習を展開しやすい。</li> <li>・滋賀県や市町の取組などの郷土資料が多く紹介されている。…栗東市（3年：安全な暮らしを守る）、琵琶湖（4年：健康な暮らしを守る仕事）、琵琶湖（5年：日本の国土と人々の暮らし）、彦根市子ども議会（6年：わが国の政治のはたらき）</li> </ul> |

小学校 種目名 地図 発行者名 株式会社帝国書院

- | 採 択 理 由  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地図のやくそく」「地図帳の使い方」のページを通して、初めて地図を使う3年が地図の見方を理解し、地図記号等に親しむことができる。</li> <li>・各地図に1cmの長さが実際の何kmかを示し、実際の距離を意識しやすいように工夫している。</li> <li>・日本の地方図については、広く見わたす地図、各地方地図、都市圏図にわけ、児童の学習内容や発達段階に合わせて見やすい地図の構成になっている。</li> <li>・土地利用図について、市街地や工業地等を色分けしたり、果樹園や田等の地図記号を用いたりするとと</li> </ul> |

- もに、等高線ごとに着色することにより、土地利用の仕方が大変わかりやすくなっている。
- 世界各地の地図では、各国の自然や文化の特色を表したイラストを多く掲載している。アジア・ヨーロッパでは国ごとに、アメリカ合衆国では州ごとに色分けされ、形や大きさが視覚的にわかりやすく工夫されている。
- 瀬戸内周辺の地図のページに、広島市の原爆による被害状況のわかる資料図をつけるなど、児童が資料を活用して、歴史や地理と関連付けながら思考を深める工夫がなされている。
- 児童が持続可能な社会の実現に向けて意識をもつことができるよう、SDGsの特設ページとともに、SDGsの関連資料を掲載している。
- 「江戸時代の結びつき」の地図や当時の江戸の様子がわかる資料を掲載し、6年の歴史の学習が深められるように工夫している。
- 「地図マスターへの道」を随所に設け、学年の学習内容に応じた課題を設定し、地図と関連付けながら、深い学びにつながる工夫をしている。
- 地図帳の使い方について4ページを使って、土地利用、縮尺ときより、さくいんの使い方をわかりやすく解説している。
- さくいんは5色を使い、都道府県名やその他の地名、世界文化遺産・世界自然遺産を色分けすることでわかりやすくしている。
- 色分けすることにより地図を立体的に表現するなど、大変見やすくなっている。
- 巻末に「地図マスターへの道」の取組を記録するページを設け、学習を進める達成感を得られるように工夫している。

小学校

種目名

算数

発行者名

大日本図書株式会社

| 採 択 理 由   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>単元末の「たしかめ問題」が、見開きで示されている箇所が多く、課題の全体像、全体量をつかみ、見直しを持って学習を進めることができる。</li> <li>知識、理解を深める「まとめ」の部分が「用語説明」と「特徴の発見」に色分けされており、一目でわかるようになっている。</li> <li>2年以上の巻末には、練習問題に対応した補充問題「プラスワン」が掲載されている。加えて、問題の難易度も示されており、「個別最適な学び」が展開できるよう配慮している。</li> <li>6年生「データの活用」ドットプロットを作成する際、教科書にマス目が書かれているなど、正しい知識や技能を習得するためのきめ細かな支援がある。</li> <li>算数の大切な考え方を「ひらめきアイテム」と称し、児童が考える際のヒントとなっている。考え方を一覧にまとめることで、これまでの学習とのつながりを理解することができる。</li> <li>ページをめくらないと解決方法や話し合いの様子が見えないつくりになっている。教科書を開いて、吹き出しなどの解決の手がかりを見ながら、まずは一人でじっくり粘り強く考えることができる。</li> <li>各学年4つ程度特設ページ「読み取る力をのばそう」が設けられ、情報を読み取り、活用・表現する力をのばす問題が用意されている。</li> <li>ブロック図、テープ図や数直線図を考え方ツールとして、段階的に繰り返し指導ができる編集になっている。（4年以上の巻末に書き方が明示されている。）</li> <li>3年以上は、「がくしゅうのふりかえり」を重視し、大切な考え方を自分の言葉でまとめ、確認することを促している。加えて、単元全体のふり返りを促すコーナーもある。</li> <li>巻頭には、算数の学習の進め方やノートを取り方などについてイラストなどを使って説明していて、学年はじめや学習中に学び方を適宜指導することができる。</li> <li>単元の導入「新しい学習がはじまるよ」では、日常生活や学習場面で算数を活用する内容を写真やイラストで提示し、課題意識を持って学習に取り組めるようにしている。</li> <li>単元末の「学んだことを生かそう」は、実態に応じて柔軟な使い方ができるようになっている。</li> <li>「ふくろう先生のなるほど算数教室」では、算数の面白い問題や話題を充実させたり、各種教育（キャリア教育、防災教育等）との関連を意識した内容を紹介したりするなどして、児童の興味関心を高めるようにしている。</li> <li>3年までの「おうちで算数」は、学んだことを家庭生活でも生かせるようになっている。</li> <li>他教科との関連を意識した課題や話題を取りあげている。また、滋賀県に関する写真や話題も豊富に掲載されている（うみのこ、琵琶湖の広さ、彦根城、大津花火大会など）。</li> <li>1年の入門期の3単元が、A4版の独立したワーク形式の教科書になっている。半具体物のブロックの操作がしやすい形になっている。</li> <li>数字を書くマス目や色を塗る○の大きさが1年生入門期の児童の実態にあっており、算数の活動がイラ</li> </ul> |

ストで明示されている。

- ・既習内容との系統やつながりを意識した目次になっているとともに、教科書左側に「①課題把握 ②自力解決～まとめ ③適用問題」の学習の流れを示したタグを付け、どの学習をしているのかがわかるようにしている。
- ・1445個のデジタルコンテンツがあり、動画、ふり返し、練習問題、記録用紙の出力など、バランスよく配置されている。二次元コードにはタイトルとコンテンツ名が明示され、何のためにコンテンツを開くのが明確になっている。豊富な計算問題は、自動採点ができるため、自主学习がしやすく、習熟度にあった問題を選択できる。保護者向けのコンテンツもある。

小学校 種目名 理科 発行者名 株式会社新興出版社啓林館

採 択 理 由

- ・「まとめ」は「問題」の答えとなるよう簡潔に同色で表現されている。
- ・単元末には「まとめノート」がある。要点や新しく学習した理科の言葉が整理されており、ふり返しに適している。
- ・「たしかめよう」として適応問題が充実している。学習内容の整理、定着が図れるとともに、二次元コードを活用すれば個別最適な学びもサポートできる。
- ・安全に配慮が必要な場面には「注意」マークが示されており、「換気」や「やけど」等何に注意すべきか具体的でわかりやすい。
- ・器具の使い方等、写真やイラスト入りでわかりやすく、二次元コードを読み取ると動画で確認することができる。
- ・問題解決の過程が点線でつながれており、流れが一目でわかりやすく工夫されてる。
- ・単元の導入場面では、興味を引く写真資料が示されている。見開きの同ページには「思いだそう」として生活経験や既習事項を想起させる仕組みがあり、「問題をつかもう」につながる工夫がある。「問題をつかもう」では、児童が話し合っ「問題」を見いだす過程が具体的に示されている。
- ・問題解決の場面では、児童が対話するイラストを用いてあり、対話を通して思考を広げ、深められるようなモデルが示されている。
- ・児童が会話しているイラストの中に「理科の見方」や「理科の考え方」のマークがあり、さりげなく問題解決への道筋が示されている。
- ・実生活と関連づけたコラムが豊富である。コラムでは、二次元コードでインタビューが聞けたり、プログラミング教育とつながっていたり、科学的なものの見方や考え方を広げる工夫がある。
- ・SDGsやSTEAM教育、キャリア教育等、学習内容と関連づけて考えられるコラムが掲載されている。
- ・栽培や飼育方法について、興味関心が高まるように詳しく説明されている。また、コラムでも発展的な内容を取り扱っている。
- ・観察や飼育する活動では、生命尊重の態度を育むための「自然を大切に」マークがある。
- ・二次元コードの数が多く、具体的に実験・観察の手順がわかる。
- ・単元末に「まとめ」「解説」動画の二次元コードがついており、自学自習に良い。
- ・どのようにICTを活用すれば良いのか例が示されており、子どもにとってわかりやすい。
- ・巻末の「オッターの資料室」では、「ノートのまとめ方」や交流の仕方、他教科との関連が示されており、資料としてわかりやすい。
- ・巻末のWaCBTでは、CBTコンテンツが用意されている。
- ・AB版なので、机の上に出すときに大きすぎずちょうど良い。

小学校 種目名 生活 発行者名 東京書籍株式会社

採 択 理 由

- ・巻末に「かつどうべんりてちょう」を設け、生活上必要な習慣や技能を身に付けるためのヒントや資料が掲載されている。単元の最初には、「かつどうべんりてちょう」の関連ページを示している。
- ・巻末の「いきものずかん」は、実物の大きさと描かれていて、観察の際に分かりやすい。
- ・ページの右上の「やくそく」は、学習活動に即した習慣や技能を身に付けられるように分かりやすく記載され、QRコードを読み取ると動画で確認することができる。
- ・児童の気付きを確かなものにつなげる写真や挿絵、ふき出し、表現作品が記載されている。
- ・「かんさつずかん」の項目では、カードの書き方が詳しく説明され、観察の視点が「だいじなこと」の中に示されているので、児童が実際に観察カードを書くときに参考にしやすい。また、自身のカードと

比べることで、どのような内容を付け加えればよいのかも考えやすい。

- ・「～かな」と問いかけの言葉から始まっている単元が多く、子どもたちが課題に気付く構成になっている。また、挿絵やふき出し等が思考の流れに沿って具体的に示されている。
- ・具体的な活動のイメージがもてるように、学習内容や発達段階に合わせた方法・内容を例示している。
- ・すべての単元扉に児童の活動写真や小写真、ふき出しが掲載されており、児童の活動への意欲を喚起させたり、これまでの経験を想起させたりするなど、活動の見通しを持たせることができる。
- ・小単元の最後に、多様な表現の例や振り返りをする児童の写真やイラストが発達段階に応じて掲載されており、活動の質を高めることができる内容になっている。
- ・「かんさつずかん」「あそびずかん」「おもちゃずかん」など、児童にとってわかりやすく書かれていて、学習活動の見通しを持つことができる。
- ・QRコードが随所であり、発展的に調べたり考えたりすることができる。
- ・写真資料が豊富で、見やすい。活動がイメージしやすい。
- ・他教科等で身に付けた資質・能力を生活科の学習の中で生かす場面を例示しているため、児童たちが関連付けて考えることができる。

小学校

種目名 音楽

発行者名 株式会社教育芸術社

### 採 択 理 由

- ・巻頭に「学習マップ」があり、児童が学習の進め方について見通しをもちやすい。
- ・学習する音楽的要素が、ページ右端に書かれており、学習する時のポイントがわかりやすい。
- ・リコーダーでは、新しく出てきた音の指遣いの説明が具体的でわかりやすく示されている。
- ・多くのページで、キャラクターによるつぶやきの形で学習の進め方や気付かせたいことを示しており、学習目標を意識して活動が進められるように工夫されている。
- ・巻末の「ふり返りのページ」では、音楽を形づくっている要素をイラスト等で説明し、1年間の学習を一目でふり返ることができるよう工夫されている。
- ・巻末の「リコーダーの運指表」は、児童が理解しやすいよう、音符と音名が表示されている。
- ・巻末の「いろいろな音符・休符・記号」では、学習した音符や記号などがわかりやすくまとめられている。
- ・人と合わせる、一緒につくる、伝え合うなどの学習活動が重視されており、仲間と関わり合いながらつくりあげる活動が多く設定されている。
- ・音楽を形づくっている要素について、聴いて感じたことなどを書き込めるスペースが用意されている。
- ・児童が思いや意図をもって表現に取り組めるよう、子どもの対話の形で吹き出しに表現のポイントが例示されており、それを参考に児童が思いをもって表現したり聴いたりできるように工夫されている。
- ・発達段階に応じて考えを出し合いながら音楽をつくったり、作詞者や演奏者等の工夫を見つけたりするなど、対話的な活動が多い。
- ・低学年では打楽器、中学年ではリコーダーや管楽器、高学年ではオーケストラやアンサンブルなど、発達段階に応じて演奏形態を学ぶことができるようになっている。
- ・〇〇さんのお話として、エピソードなどが紹介され、児童が音楽に主体的にかかわることができるように工夫されている。
- ・「見つける」「考える」「歌う、演奏する、つくる」という見出しで活動内容が示され、「知識」「思考力・判断力・表現力」「技能」の観点を意識しながら主体的に学習が進められるように工夫されている。
- ・単元のはじめのページにねらいが、最後のページにふり返るまとめが書かれており、単元ごとに学んだことやできるようになったことを自分で確認できるように工夫されている。
- ・色分けされた楽譜など、視覚支援が多い。
- ・掲載曲数が多く、全体のページ数も多い。児童が多くの楽曲に親しむことができるように配慮されている。
- ・参考となる動画や資料が再生できるQRコードが、ほとんどのページに用意されていて、例えば4年生では、30教材に100コンテンツ以上あり、参考資料が多い。
- ・QRコードでアクセスできる楽曲には、パート別再生や速度の変更ができるものもあり、より楽曲の特徴をつかんだ鑑賞ができるように配慮されている。
- ・タブレット上で行うリズムづくりや作曲活動も用意されており、楽譜上だけでなく音やリズムを確認しながら簡単に作曲活動ができるようになっている。

## 採 択 理 由

- ・教科書の使い方が掲載されており、学習のめあて、導入の言葉がけ、表現や鑑賞、授業で大切にすることを色分けした吹き出しで示してある。児童が何を学ぶのか、何を身につけるのかが分かりやすい。
- ・めあてが「知識」「技能」「発想や構想」「鑑賞」「学びに向かう力、人間性」と5つに細分化しており、具体的でわかりやすい。教員は表現と鑑賞を意識した指導を大切にすることができる。
- ・使用する主な材料や用具がイラストと共に掲載され、参考にするページも示されている。QRコードを読み取ると、数多くの作品、材料や展示の仕方を変えた作品等を見ることが出来る。
- ・低学年では保幼の経験をいかせる題材や季節に関する題材、中学年では理科や算数科で学んだ内容を活用する題材がある等、季節や他教科との関連を踏まえたカリキュラムとなっている。高学年では鑑賞と表現が互いに高まったり、経験を活かして発想が広がったりする題材の配置となっている。
- ・子ども達の発言だけでなく、作品や物にも吹き出しがあるので構想や発想の支援となる。
- ・身近な物から形や色等に気づき、見方や感じ方を広げる題材も多い。表現の異なる多様な作品の写真が児童の表現に広がりをもたせ、工夫や意欲を高めることができる。
- ・「アート・カードを楽しもう」の鑑賞時の言語活動は、自分とは違う発想や物の見方、感じ方に気づき、作品を見る視点に幅が出る。
- ・図画工作をもっと楽しむためのページとして『教科書美術館』『図工のみかた』『広がる図工』『友だちと作品を見て話そう』『アート・カードを楽しもう』が掲載されている。『教科書美術館』は、外国の作品や建築物が紹介されており、他国と日本の違いを知り、伝統文化の良さを確認する機会となる。『広がる図工』では、再利用した作品や生活とつながる取り組みが紹介されている。
- ・関連のある題材は前後して配置しているので取り組みやすい。使用する材料も自然の物や再利用できる物が多い。
- ・「つながる図工」として人とのつながり、他教科とのつながり、つくることを仕事にしている方々や施設とのつながりがめあてに沿って紹介されている。自分の好きなように表現することが重視され、自己肯定感を高めることにつながる。
- ・使用してある文字の色やデザイン、背景の色合いと組み合わせ等がすっきりとして見やすい。
- ・高学年の教科書については他学年よりページ数が多く、活動過程の詳細が分かりやすいレイアウトとなっている。
- ・巻末資料の「材料と用具のひきだし」では、イラストや写真と共に説明がされており、見やすいレイアウトである。既習事項を確認する「思い出そう」のコーナーもあり、必要な材料と安全で適切な用具の扱いが身につく。

## 採 択 理 由

- ・教科書のサイズがA4判になり、実習の作業工程が見開き横1列に示されており、見やすくわかりやすい。
- ・衣食住や家庭生活の題材を細分化し、基礎的な内容から発展的な内容へとスモールステップで学習を積み上げることができる。
- ・基礎的な技能の習得に関わる内容について、製作や調理の手順などを写真やイラストで示しており、見直しをもって学習することができる。
- ・製作や調理については、細かな工程ごとに「できたかな」というチェック欄が設けられており、自分の技能の習得の状態をふり返ることができる。
- ・巻末に用語の索引があり、調べやすい。
- ・単元の始めの「学習のめあて」には、この学習で身につけたい力が示されており、学習の見通しや課題がわかりやすい。
- ・題材ごとにふり返りの欄があり、「学習のめあて」が達成できたかどうかチェックすることができる。
- ・学習で得た知識や技能をこれからの生活にどのように生かしていくのか、実践的な学習活動へとつなげる工夫がされている。
- ・単元ごとの「生かす・深める」学習に、実生活をよりよくするための具体的な方法や提案が示されており、考えを深められるようになっている。
- ・「話し合おう」「考えよう」という表記が随所にあり、その都度自分で考えたり、交流をしたりすることで学びを深めることができる。

- ・「マイめあて」の欄の問いかけによって、児童の興味・関心を自分の言葉で記述することができる。
- ・各題材の表題の部分に、作品や製作途中の様子の写真が提示されており、学習内容がわかりやすく、自分の学びとしてとらえることができる。
- ・家庭だけではなく、学級単位、地域単位で行える具体例が提示されており、学びを広げていくことができる。また、自分の「生活の課題と実践」に取り組みやすい。
- ・衣食住に関連する文化について、『伝統』マークが設定されていて、伝統的な文化についての理解を深めたり、よさに触れたりすることができるようになっている。
- ・単元中にインタビューコーナーが設けられ、生活に関わる様々なキャリアの方から小学生に向けたメッセージが記載されており、生き方や多様な視点を養うことができる。
- ・見開き1ページで実習などの工程が表示されているのでわかりやすい。また、使われている紙が厚くてめくりやすく、実習時に教科書を活用しやすい。
- ・巻末に用語索引があり、調べたりふり返ったりする時に便利である。
- ・動画が工程ごとに構成されているので、製作や作業の流れがわかりやすい。
- ・書き込みをするスペースが多いので、学習の足跡として残すことができる。
- ・1つ1つのマークや絵、写真の色合いが鮮明で見やすい。

小学校 種目名 保健 発行者名 東京書籍株式会社

### 採 択 理 由

- ・心身の健康を保持増進するために必要な知識とそのため心がけることや行動することについて、具体的な資料が豊富に用意されていて内容が充実している。
- ・「不安や悩みの対処法」や「けがの手当の仕方」について、挿絵と動画（デジタルコンテンツ）を組み合わせ、わかりやすい説明・解説がなされている。
- ・運動の必要性を繰り返し紹介し、健康づくりに大変有効であることを多角的に示すことで、日常生活で実践していく行動化への意識づけが期待できる内容である。
- ・日常生活の中で容易にできる運動遊びや体づくり運動の記載（デジタルコンテンツを含む）があり、体育科の運動領域との関連を図った学習指導がしやすい。
- ・日常生活で起こりうる身近な事例を取りあげ、課題解決に向けての思考を促す資料が効果的に用意されている。
- ・考えたことを書く記述欄が設けられており、児童が自分の考えを整理したり、事例を比較・分析したりするなどの学習活動が展開できるつくりとなっている。
- ・実験として取りあげた箇所が多く、視覚的に見やすくわかりやすい図表や資料がきめ細やかに工夫されている。
- ・実践的理解につなげるための資料（コラム等）の内容や情報量も適切であり、特に実験の様子をまとめた動画は大変わかりやすく、要点が簡潔にまとめられている。
- ・児童が事例を自分事として捉え、これからの生活に生かしていこうとする態度につなげるための書き込みスペースやQRコンテンツが効果的に配置されている。
- ・吹き出しなどで児童が共感しやすい疑問や意見などが示され、学習内容に関心を持ったり、探究心をくすぐったりするなど、目的を持って学習に向かえる工夫がされている。
- ・自身の心身の発育・発達を、成長の喜びとして捉え、安心して日常生活に向かわせるような表記が多く、学習展開が工夫されている。
- ・学習内容に応じてSDGsの関連項目が記載されており、ジェンダーや健康・福祉などについて理解を促したり学びを広げたりすることが可能である。
- ・各単元に4つのステップを設け、1 気づく・見つける、2 調べる・解決する、3 深める・伝える、4 まとめる・生かす、という健康づくりの行動化を意識して、児童がわかりやすく学べる構成となっている。
- ・教科書機能に加えて、ノート欄やデジタルコンテンツも充実していて、この教科書一冊で学習が完結できる仕組みになっている。
- ・内容を端的に捉えやすいシンプルな構成・レイアウトがなされているとともに、デジタルコンテンツの使い勝手も良い。

| 採 択 理 由  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5年生では、ローマ字の訓令式とヘボン式の違いを取り入れ、早い段階で英語の自然な音声に気付けるよう工夫している。</li> <li>・ 6年生では、各単元末にフォニックスの活動が取り入れられており、まとめて一度に覚えるのではなく、少しずつ覚えて習得しやすい構成になっている。</li> <li>・ 聞く活動から書く活動へ、読む活動から書く活動へというように、書く活動が各単元で充実している。文字の指導も丁寧にできるようになっている。</li> <li>・ デジタル教科書では、モデル映像から学べる「Small Talk」が設定しており、画面を通じて対話練習ができる映像もあり、自分の立場で答えられるよう工夫されている。</li> <li>・ 表現例や単語例、発表に関連する文例やイラストなどがあり、それを使って目的や場面、状況などに応じた表現活動に取り組みやすい。</li> <li>・ 「巻末コミュニケーションカード」を使って学習のまとめを行うことができ、掲示物としても残すことができる。</li> <li>・ 各単元の始めに単元の目標に加え、各時間のめあてが明確化されており、それに合わせて簡単なふり返りもできるようになっている。また、単元に関連する教科についても明示されていて、学習活動を広げることができる。</li> <li>・ 各単元の終わり(Over the Horizon)に、世界の人々や文化、世界的な問題について考える題材が設定されている。自分が知ったことやわかったこと、問題に対する自分の考えを書くことで、児童が主体的に学習に取り組むことができる。</li> <li>・ 各単元の終わりに、物語探検というSDGsや道徳教材に関連している内容を取り入れ、児童の豊かな心を育む多様なトピックや教材が設定されている。</li> <li>・ 単元の並びが工夫されており、like, what, canなど、1年間を通して児童が書く活動や話す活動によく使う表現を早い時期に学べるようになってる。</li> <li>・ 小さな矢印が書き順のようになっており、書くことが苦手な児童もアルファベットをなぞって書くことができるよう工夫されている。</li> <li>・ 各単元の中に、児童が対話を広げたり、発表内容を深めたりすることができるよう、3つ程度「Tips」という学習のヒントが設定されている。</li> <li>・ デジタル教科書には、英語漫才などの英語が苦手な児童も楽しめる内容を取り入れている。</li> </ul> |

| 採 択 理 由  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道徳的な価値の理解を深める「心のベンチ」と題したコラムが「いじめ・情報モラル・SDGs・多文化共生・自己肯定感」の5つのテーマで、全学年1点ずつ系統的に配列されている。児童の発達段階に応じた挿絵・写真により道徳的価値の理解が深まるよう工夫がある。</li> <li>・ 今日的な教育課題として、上記5つに加え、平和・人権教育、福祉、コロナ禍の医療、自然災害なども扱い、様々な人と支え合って生きていくことの大切さを深く学べるよう工夫されている。</li> <li>・ いじめ防止ユニット「人との関わり」が、全学年、年間3回配当されている。「心のベンチ」のコラムは、絵や挿絵、写真等が発達段階に応じて用いられ、自分のこととして考えたり、話し合いで深めたりして、実際の生活や社会とつなげて考えられるよう工夫がある。</li> <li>・ 情報モラルを扱った教材が全学年に配当され、「情報モラルコラム」と組み合わせ、情報との向き合い方を幅広く考え深められるように工夫されている。</li> <li>・ 全学年5教材以上に「ぐっと深める」のコーナーがあり、挿絵で示された体験的な活動・役割演技や書き込みにより主体的・対話的で深い学びにつながる工夫がされている。写真や挿絵が大きく入り、活動内容が順を追って具体的にわかりやすく設定されているので、価値について深く考えやすくなっている。</li> <li>・ 別冊の道徳ノートには、教師の問いに対する自分の考え、友達の意見や話し合ったことを自由に書き込めるように工夫され、言語活動の充実につながっている。また、友達の多様な考えに触れ、学びを共有しながら、自分の考えを深めるツールとして毎時間活用できる。</li> <li>・ 教材名の他に、主題と吹き出しによる発問が簡潔に示され、児童が道徳的価値についてこれまでの自分を振り返り、課題意識をもって考えられるよう配慮している。</li> <li>・ 教材最後の「考えてみよう」「見つめよう・生かそう」では、低学年では学習を通して気付いたことや考</li> </ul> |



えたことを繰り返る発問が多く、中・高学年ではこれからの生活に生かしていくための発問が多く掲載されている。

- 全学年、他教科に関連する教材がバランス良く配列されている。また、学習活動そのものを素材とした教材も全学年2教材程度掲載され、教科の学習とつなげたり、発展させたりできるよう工夫されている。
- 5年「命」の教材は、作者自筆の詩が大きく掲載され、文字を通して視覚的に主題に迫ることができる。
- 全学年、別冊の道徳ノートが付いてあり、毎時間のふり返りを3つの観点で示し、自らの成長を実感できるよう配慮されている。また、学期ごとにふり返りのページがあり、おうちの人からの書き込み欄を設けて、学びを家庭でも広げられるように工夫されている。
- 全教材に二次元QRコードがついている。朗読音声・動画・ワークシート・道具箱などが掲載されている。道具箱内の心情メーター・思考ツールは、児童がタブレット上で操作できるようになっている。
- 道徳ノートにも全て二次元QRコードが付き、一人1台端末で自分の答えや友達の意見、話し合ったことなども自由に書き込めるようになっている。またそれらを蓄積し、後の振り返り等で活用することで、成長を実感できる。
- ユニバーサルデザインデジタル教科書体の使用とカラーユニバーサルデザインにより、鮮明に見え、読みやすい。
- 学年の発達段階に合わせて、各学年、各教材の文章量が適切であり、教材の配列が成長に合わせて順序立てられている。
- 鮮明なカラー写真や、主人公の心情に迫る挿絵が必要な箇所に適切に掲載され、考える手がかりになる。
- 全ての教材が見開きのページで構成されているため、学習している教材だけに集中し、話に浸りやすい。
- 全学年、別冊の道徳ノートが付いてあり、友達の意見や図・絵、ふり返りなどを書き込みやすい。固定した発問の記入がなく、児童の実態に合わせて工夫できる自由度がある。入学後すぐには文字を見るのではなく、絵を見て○を付けるなど1年生の実態に合わせた仕様となっている。
- フローティングスクールや地元オリンピック選手を掲載した地域教材がある。